

淡路支部ニュース

2013.4.25
No.292

兵庫県保険医協会淡路支部
〒656-0051 洲本市物部
3-3-44 松本産婦人科内
Tel.0799-2270073

ただちに状況調査と見舞訪問

4月13日午前5時33分頃に発生した淡路島地震は、淡路市・洲本市・南あわじ市の医療機関にも被害をもたらした。協会は発災当日から会員医療機関を訪問し状況調査と見舞いを行うとともに、電話とFAXでも被害状況の把握に努めた。同日午後理事会でも、被害状況把握と支援等を迅速に進めていくことが確認された。

4月19日現在、報告されている。震災当日に寄せられている淡路支部会員の被害は、医療機関の一部損壊、38件、自宅一部損壊30件。水道管の破裂や建物のひび割れ、医療機器の転倒などが報告された。震災被害等に関する情報提供・お問い合わせは、Tel.078-393-1817 協会事務局まで。

Let's...

4・13淡路大地震 M6弱。発生が20分前後していたら洲本市で死者1人というところであった。毎朝、筆者が神棚・仏壇に向かっている時間。まさに神仏の加護と言わざるを得なかった。

以前にも書いたが、後始末にあたってリーダーの監督の必要なこと。診察室も2階の私の部屋も書棚が倒れ、本・書類・器具が散乱、その処理。診察室は私が入り、カルテはこの書籍は、この書籍は―とお手伝いに来ていただいた皆様に指導？をさせていただいた。カルテの順序は滅茶苦茶だが、他の書類と混ざり合うことはなかった。一方、2階は来ていただいた方の判断での修復なので、蒲団の上、床の上の物が起こした書棚に並べられているだ

け。当分何がどこにあるのやらの状態が続くことになっていく次第。後処理にリーダーの必要な所以！

前回の阪神・淡路大震災は、神戸という大都市が含まれていたこと、また現在も三宅島の引き続く地震、さらにボストンマラソンのテロ事件、世界各地での緊迫した国際情勢とあつて、今回の淡路地震のマスコミの注目を引いたのは一両日で終わった。震災の程度はもちろんであるが、地域性は止むを得ないことであるが、政治家、特にそれぞれの長たる者の対応も大きいということは、自分の経験を通じて感じている。

今月も事件は多い。雅子妃殿下の訪蘭・選挙法の改変、アメリカはテロの続発、北朝鮮から東南太平洋、ユーロも？ 東南海の地震だけは遠慮願いたい。

【4・19 松本記】

職員接遇研修会を開催

明日から生かせる患者 対応の基本・応用学ぶ

11医療機関から25人が参加し、楽しみながら患者接遇を学んだ(4月13日・洲本市内)



兵庫県保険医協会淡路支部

支部長

「協会役員等の選出規定」(細則)の第3条の3および第9条の2により、淡路支部役員選挙の公示を行います。

【役職と定数】

支部長 1名

副支部長 若干名

幹事 若干名

【任期】 2年

【改選日時・会場】

5月25日(土)15時

第35回淡路支部総会

洲本市健康福祉館3階会議室

【立候補締切日時】

5月17日(金)正午

【立候補届出の方法】

立候補希望者・推薦希望者は、協会事務局までお申し出ください。用紙をお届けします。「立候補届」「推薦届」に必要事項を記入の上、事務局へ持参または郵送ください。

医療安全管理研修会(3月9日・洲本市)

患者と自分を守るために

今回の研修会では、医療従事者の健康管理と題し、前半には針刺し防止のためのポイント、後半にはこの冬にも大流行したインフルエンザとノロウイルス、そして淡路島に患者数の多い結核についての現状とその対応について学びました。

研修会に参加させていただいたことで、昨年、数年間のブランクの後に臨床現場に復帰した私にとって、スタンダード・プリコーションを再学習する良い機会となりました。

針刺し防止のポイントにお

いては、手袋の装着や安全器材の使用の重要性を感じましたが、コスト面から、なかなかそれらがスタンダードとはなっていない現状があります。しかし、一部には診療報酬加算が認められている器材もあることを知り、今後、そういう器材が増えることで、器材を使用しての感染予防策が、標準化しやすくなるのではと感じました。

ポイントの中には、“あわてず冷静に取り組む”や“ゆとりのある作業スペースを確保する”など、すぐにでも実施できるものも多くあります

た。よってまずは、自分の行動や姿勢、職場の環境を整えていくことに取り組んでいきたいと思えます。

後半のお話にあったノロウイルスについては、本院にもこの冬、疑いを含む多くのノロウイルス感染症の患者様が来院されました。次々と様々な患者様が来院される中、いかに感染を予防するための対策をとればよいのか苦慮していました。しかし、お話に加え、講師の先生に質問に答えたいいただくことで、今後の具体的な対策を導き出すことができました。

感染予防策は、患者様及び自分自身を守る重要な対策であるため、今回学んだことを具体的に、活用していきたいと思えます。

【洲本市・看護師 K】

投稿を募集しています !!

支部ニュースへの投稿を募集しています。日常の診療にかかわることや主張など、テーマは問いません。地域色豊かな話題を淡路の会員の先生方で交流したいと思います。医科・歯科連携のアイデアなど、お寄せください。



【FAX】 078-393-1802

【E-mail】 kusunoki@doc-net.or.jp

淡路支部担当 楠(くすのき)まで

兵庫県保険医協会

日時 5月25日(土)15時～

会場 洲本市健康福祉館3階(洲本市応急診療所の建物)

記念講演

15時40分～

メディキャスト株式会社 メディプラザ マネージャー

(仮)
氏

メディプラザは、メディキャスト株式会社が運営する医療IT製品の常設総合展示場です。多数のメーカーの電子カルテ等を一堂に展示する国内初の常設展示場として、2002年11月に東京都千代田区で開設、2003年9月には大阪も開設されました。出展企業ではなく、メディプラザの専属アドバイザーが製品説明、デモンストレーションまでを一貫して行うのが最大の特徴で、多くの医療機関様に対し、中立的立場でIT化の専門的アドバイスを行っています。

講師はメディプラザ大阪の創設メンバーとして診療所の経営指導、システム導入支援に長年従事しており、医師の立場に立って、延べ1000人以上の電子カルテの選定アドバイスに携わっております。医師会、各種専門学校などで、多数の講演も行なっております。当日は、医療現場におけるモバイル端末活用や電子カルテ、クランク運川のすすめ、受付順番予約システム、画像ファイリングシステム等についてお話をさせていただきます。【メディプラザ】

お問い合わせは、TEL 078 - 393 - 1803 協会事務局・楠(クスノキ)まで

第35回淡路支部総会(5/25)出欠確認

返信FAX 078 - 393 - 1802 事務局・楠あて

■支部総会/記念講演に

①ご出席()人 ②都合がつけば()人

地区 _____ 市 _____ 医療機関名 _____ 代表者 _____